学校だより　第12号

加曽利中

千葉市立加曽利中学校
令和５年３月 24 日

一期一会

３月 10 日に３年生のみなさんが無事に卒業をしていきました。校長式辞の中でも、「自分で選んだ道に向かい、自らの足で歩むように」と伝えたところです。義務教育が終了し、これから新たな人生のスタートを切ることになります。

３月～４月は別れと出会いの季節でもあります。本校では、全学年クラス替えを行いますので、今のクラスの友達の中にはお別れになる人もいます。新しいクラスをより良いものにするためにも、クラス替えの機会を大切にし、チャンスとしてとらえて作り上げていってほしいと願います。

また、今年度末で本校から離れる先生方もおります。様々な形で関わった先生方と授業や部活動等を通して得たものを、生徒の皆さんにとって、今後の自分を伸ばす力としてほしいと思います。

また、４月からは新しく着任される先生方もおります。新たな出会いで、新しいことを吸収できるチャンスが生まれます。自分の周りにいる友達や先生との関りを大切にして多くのことを吸収していってほしいと思います。

今、生きているこの瞬間は二度と再現できるものではありません。出会いと別れを大切に感じながら、今が充実した中学校生活となるよう、自分の人生の栄養にしてほしいと思います。

地域訪問代替講演会の実施

【講演していただいている同窓会長林様】

本来であれば、1 学年ではキャリア教育の一環で、自分たちが住んでいる地域を理解するために地域訪問を実施する予定でした。しかし、コロナ禍で実施することができませんでした。その代わりに 3 月 17 日（金）に同窓会長の林義則様においでいただき、この地域の歴史についてお話をしていただきました。生徒も歴史あるこの地域の成り立ちについて理解できたことと思います。